

# 高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業 令和5年度実績

## 1. 相談支援事業等

### (1) 高次脳機能障がい支援相談会

行政書士・社会保険労務士・家族会による相談ブースを設け、自賠責保険の後遺障害認定や障がい年金・労災保険の手続き、家庭内での関り方といった困りごとの解決への道筋について助言してもらう相談会を開催した。事前予約制で、各相談ブースでの相談時間は30分とした。また、相談方法は、来所面談の他、相談者の希望により、電話やWeb会議システムでも対応した。

対象：当事者、家族、支援者

日時及び参加者数：第1回 令和5年6月13日（火） 13:30～16:00 25名

第2回 令和6年1月30日（火） 13:30～16:00 18名

### (2) 高次脳機能障がい者自動車運転評価（モデル）事業

既に自動車運転免許証を取得している高次脳機能障がい者の方が、安全に運転を再開できるかを考えていただくとともに、大阪府公安委員会（運転免許試験場適性試験係適性相談コーナー）に提出するための診断書を取得することを目的とし、医師による診察、神経心理学的検査、自動車学校での運転技能評価などを行った。

平成30年度以降、大阪府・堺市の支援拠点以外でも身近な地域で大阪府公安委員会に提出する診断書（様式7：脳卒中等）の作成ができるよう、医療機関、自動車教習所に協力を打診しており、自動車学校が5か所、地域の協力病院が4か所増えている。

事業参加者数：201名（平成26年9月～令和6年3月31日）

大阪府障がい者自立相談支援センター受付分 71名

堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター受付分 130名

実施状況：参考資料2-1別表 参照

### (3) コンサルテーション事業

支援に悩んでいる障がい福祉サービス提供事業所を訪問し、状況や高次脳機能障がいの状態像の整理等を支援者の方と共に行い、今後も事業所で支援をしていくための方策を検討した。

実施件数：15件（平成30年10月～令和6年3月31日）

- ・市町村別の内訳は、大阪市3件、東大阪市1件、八尾市3件、高槻市1件、茨木市1件、吹田市2件、和泉市1件、柏原市1件、大東市1件、高石市1件
- ・事業所種別の内訳は、就労継続支援A型3件、就労継続支援B型2件、生活訓練3件、生活介護4件、グループホーム3件

### (4) 子どもの高次脳機能障がい家族講座・交流会

小児期発症の高次脳機能障がいは成人に比べて少なく、本人をサポートするための情報を得たり、同じ立場の人と出会う機会が少ないと言われているため、情報を入手したり、思いや体験を共有したりできる機会を提供する目的で、言語聴覚士による基調講演やグループワークを行った。

対象：高次脳機能障がいのある小学生・中学生の家族

日時：令和5年12月15日（金） 10:30～12:30

参加者数：4名

## 2. 普及啓発

府民に広く普及させるための普及啓発イベントや、損保協会の助成金を利用したリハビリテーション講習会を実施した。また、府民や支援者等がいつでも気軽に知識を習得することができるよう普及啓発用動画を2本制作し、YouTubeで公開した。さらに令和6年度以降に制作する動画について、意見交換会を実施した。

### (1) 大阪府高次脳機能障がい普及啓発イベント

「高次脳機能障がいを知ろう！！～脳卒中や事故などの後、もしかすると！？～」

日時：令和5年6月18日（日）10:00～16:00

場所：イオンモール茨木 1階ジョイプラザ

内容：・高次脳機能障がいに関する相談  
・ミニ講座と脳トレ体験  
・啓発グッズやリーフレット配布  
・高次脳機能障がいについてのパネルや事業所作品展示  
・屋台、万博コーナー 等

### (2) 大阪高次脳機能障がいリハビリテーション講習会への協力

大阪高次脳機能障がいリハビリテーション講習会（一般社団法人日本損害保険協会助成事業）の実行委員会にメンバーとして参画し、医療・福祉などの関連専門職、当事者やその家族と協力して下記講習会を実施した。

日時：令和5年11月12日（日）13:30～16:00

場所：堺市立健康福祉プラザ 3階大研修室

\* 当日撮影したものを後日 YouTube 限定配信

内容：高次脳機能障がいについて知らなかった人らに身近な問題として知ってもらえるよう、基礎講座、当事者・家族・支援者の体験談、当事者・家族会の活動紹介等を行った。広報物のデザインには、高校生らが協力してくれた。

参加者：221名（会場51名 Web170名）

### (3) 普及啓発用動画制作のための意見交換会

日時：令和5年8月7日（月）15:30～17:30/令和5年12月22日（金）15:00～17:00

場所：大阪府障がい者自立相談支援センター 小会議室

内容：令和5年度～数年かけて計7本の動画を制作。動画は1本あたり5分～10分程度にし、生活場面に即した事例を盛り込むことで、親しみやすい内容にする。また、発達障がいや認知症との違いについても触れることで、より多くの方に関心をもってもらえるようにする。

	作成年度	タイトル	内容
①	令和5年度	事故や脳の病気のあと、もしかすると…	症状、高次脳機能障がいの説明、相談窓口の紹介
②	令和5年度	診断してもらうには ～発達障がい・認知症との違い～	診断基準や診断の流れ、他障がいとの違い
③	令和6年度 (予定)	家庭内でこんなことはありませんか？ ～事故や脳の病気のあと、もしかすると～	症状、対応方法、当事者・家族会の紹介
④	令和6年度 (予定)	買い物先・役所・銀行でこんなことはありませんか？ ～事故や脳の病気のあと、もしかすると～	症状、対応方法、福祉サービスの紹介
⑤	令和7年度 (予定)	職場でこんなことはありませんか？ ～事故や脳の病気のあと、もしかすると～	症状、対応方法、就労支援
⑥	令和7年度 (予定)	学校でこんなことはありませんか？ ～事故や脳の病気のあと、もしかすると～	症状、対応方法
⑦	令和8年度 (予定)	当事者・家族からのメッセージ	今後検討

### 3. 研修

講義については受講者の都合に合わせて視聴してもらえるようにオンデマンド配信にしたり、演習についてはWebか対面かを選択できるようにして実施した。オンデマンド配信では、業務の都合をつけやすく受講しやすいとの声が聞かれたため、今後の開催方法等にも考慮していきたい。

#### (1) 市町村高次脳機能障がい担当職員研修

日 時：令和5年7月14日（金）10:00～7月24日（月）16:00

方 法：インターネット会議システム（Zoom）

参加者：市町村職員 36市区町村 75名

内 容：高次脳機能障がいの基礎と窓口対応の工夫、大阪府における失語症者への意思疎通支援、当事者と支援者の体験談、大阪府における高次脳機能障がい支援の取り組み（地域別実践研修等）、大阪府高次脳機能障がい支援拠点の取り組み

#### (2) 地域支援者養成研修（講義と演習）

日 時：講義 令和5年8月24日（木）10:00～令和5年9月25日（月）16:00

演習 日程①令和5年9月7日（木）13:30～16:30（Zoomオンライン会議システム）

日程②令和5年9月14日（木）13:30～16:30（急・総C 3階講堂）

（日程①か②のどちらかに参加）

方 法：講義はオンデマンド配信

演習はインターネット会議システム（Zoom）または会場にて対面

参加者：障がい福祉サービス提供事業所等職員（日中活動支援、入所施設等） 58名

内 容：症状と対応、社会資源等の基礎知識に加え、日中サービス提供事業所や相談支援事業所からの実践報告、当事者・支援者の体験談、事例検討の演習等

### (3) 相談支援従事者等研修（講義と演習）

日 時：講義 令和5年8月24日（木）10：00～令和5年9月25日（月）16：00

演習 日程①令和5年9月19日（火）13：30～16：30（Zoom オンライン会議システム）

日程②令和5年9月26日（火）13：30～16：30（急・総C 3階講堂）

（日程①か②のどちらかに参加）

方 法：講義はオンデマンド配信

演習はインターネット会議システム（Zoom）または会場にて対面

参加者：相談支援専門員、コミュニティソーシャルワーカー、介護支援専門員等 60名

内 容：症状と対応、社会資源等の基礎知識に加え、日中サービス提供事業所や相談支援事業所からの実践報告、当事者・支援者の体験談、事例検討の演習等

### (4) 医療機関等職員研修会

日 時：令和6年2月4日（日）10:00～12:15

方 法：インターネット会議システム（Zoom）

参加者：医師、セラピスト、ソーシャルワーカー、看護師等 76名

内 容：高次脳機能障がいのある方の入院中のかかわりと退院後の支援

自動車運転評価(モデル)事業実施状況

\*R6年3月末現在

主な 運転目 的	人数	年代	継 続 中	事業中止	医師診断書 結果	公安委員 会の結果	公安委員会における判断 概ね1年後の運転 の有無※	
							運転して いる	運転して いない
仕事	89名	10～30代:11名 40～50代:57名 60～80代:21名	5名	STEP1:4名(本人・家族の申し出による) STEP2:1名(医師の判断による) STEP3:4名(神経心理学的検査の結果による) STEP4:4名(実車評価による)	○:69名 ×:1名 保留:1名	○:69名 ×:1名 保留:1名	20名	5名
通勤	22名	10～30代:3名 40～50代:15名 60～80代:4名	1名	STEP2:1名(本人・家族の申し出による) STEP3:2名(神経心理学的検査の結果による) STEP4:1名(実車評価による)	○:17名	○:17名	5名	0名
日常生活	90名	10～30代:9名 40～50代:49名 60～80代:32名	7名	STEP1:5名(本人・家族の申し出による) STEP2:1名(本人の申し出による) STEP3:2名(神経心理学的検査の結果による) 2名(本人の申し出による) 1名(本人の死亡による) STEP4:14名(実車評価による)	○:58名	○:58名	16名	4名
合計	201名	10～30代:23名 40～50代:121名 60～80代:57名	13名	STEP1:9名 STEP2:3名 STEP3:11名 STEP4:19名	○:144名 ×:1名 保留:1名	○:144名 ×:1名 保留:1名	41名	9名

※大阪府障がい者自立相談支援センターが相談窓口となった事例のみ